

協力ありがとうございました 東高生の声、医療者に届く



速報新聞

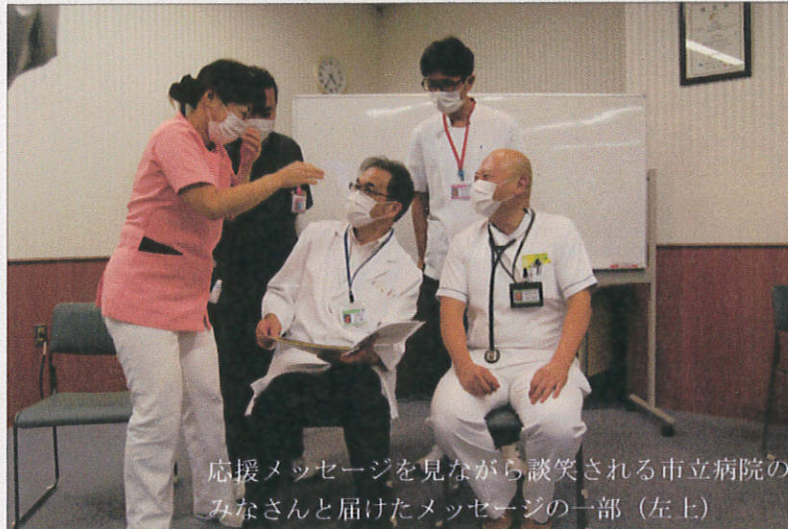
キマグレ

発行所

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号



応援メッセージを見ながら談笑される市立病院のみなさんと届けたメッセージの一部(左上)

本校新聞部は、このコロナ禍で尽力されている医療従事者のみなさんを応援するため、賛同いただいた各クラブの応援メッセージを医療機関に届けた。

新聞部は、10月号のコロナ禍の医療の特集を取材するなかで、医療現場のみなさんの実情を知り、夏休み中を中心に各部活動で応援メッセージの協力をお願いしたところ、32のクラブと3年生の有志から、メッセージを寄せていた。

滋賀県のコロナ対策の拠点となっている守山市の滋賀県立総合病院へ9月15日に、彦根市の彦根市立病院へ9月17



▲▲滋賀県立総合病院でメッセージを受け取っていただいたコロナ棟の上野さん(上)とメッセージの掲示(右)



日に、それぞれメッセージを印刷したアルバムを届けた。彦根市民病院では、多くの関係する医師や看護師のみなさんが参加するなか、新聞部編集長の村木春樹さん(216)から金子隆昭院長先生に手渡され、金子先生は「こういうものをいただく」とモチベーションが高まる」と彦根東高生の応援に対する感謝を述べられた。

また、滋賀県立総合病院では、コロナ棟の上野ひとみ看護師長に受け取っていただいた。県立総合病院からは、後日、一山智 総長からの手紙が届き、そのなかで「依然終息が見通せず、厳しい状況が続くなかで、次代を担う皆様から、医療への関心と励ましの声をお寄せいただいたことに職員一同たいへん喜んでおります」との感謝を寄せていただいている。あわせて、県立総合病院の総合受付で、寄せられたメッセージの写真を掲示しているということだ。

今回の医療特集を担当している村木さんは「協力してもらった部活にはとても感謝している。もらったメッセージを見て、自分まで元気をもらえたような気がする。医療従事者の方にも喜んでもらえたので、本当にやってよかったと思った。本校生徒の、応援したいという思いが少しでも医療従事者の方に届いてほしい」と話している。